

地域の生徒と高齢者を繋ぎ、持続可能な里山を守るモデル作りに関する研究

WAVOCまつだい早稲田じょんのび交流プロジェクト

活動理念

新潟県十日町市松代地域に暮らす方々と学生との「つながり」を通して、相互が認め合い、協力し合って過去・現在・未来を見つめる。過疎高齢化が止まらない地域の現状を踏まえ、地域の豊かな文化や自然を継承・保全することを目指すプロジェクトの実行によって個々の「幸せ」を追及し、各々が自らの価値尺度での充足感を得ることの出来る地域活性化を実現する。



活動内容および成果

①地域の高齢者との交流

地域に古くから伝わる年中行事への参加や、一軒一軒のお宅訪問を実施した。地域の高齢者と様々な機会を通してコミュニケーションを取ることで、学生と高齢者との強固な信頼関係を構築した。

②教育を通じた子供たちとの交流

早稲田大学の学生が身近なお兄さん・お姉さんとして松代地域の子供たちへの学習支援を行うことで、彼らの勉強意欲を高めることを目指した「早稲田松代塾ジュニアプログラム」を実施した。また学習支援を行うだけではなく、スポーツや何気ない会話を通して、お互いのつながりを深めることが出来た。

③地域文化の保全・継承

松代地域は日本を代表する豪雪地帯であり、風光明媚な景色を生み出す棚田が各地に点在している。豪雪地帯独特の除雪文化である「雪ほり」体験プログラムの実施や、棚田に不法投棄されたゴミの回収などを行うことによって、地域独自の文化を守り次世代につなげていく活動を展開した。



今後の方針

今までの活動を通して築き上げた高齢者との信頼関係を基に、来期以降もお宅訪問・年中行事への参加・棚田保全活動・雪ほりプログラムなど多様な活動を展開し、松代地域に根付く豊かな里山文化を明らかにする。また、学習支援を通して創り出された学生と子供たちとのつながりを活かして、大学生が地域の高齢者と子供たちをつなぐ役割を担う。こうした活動を通して、先人が守り続けてきた松代地域の豊かな魅力を地域の将来を担う次世代に引継ぎ、長期的視野に基づいた松代地域の活性化を目指す。